

SAMPLE

別紙②-1

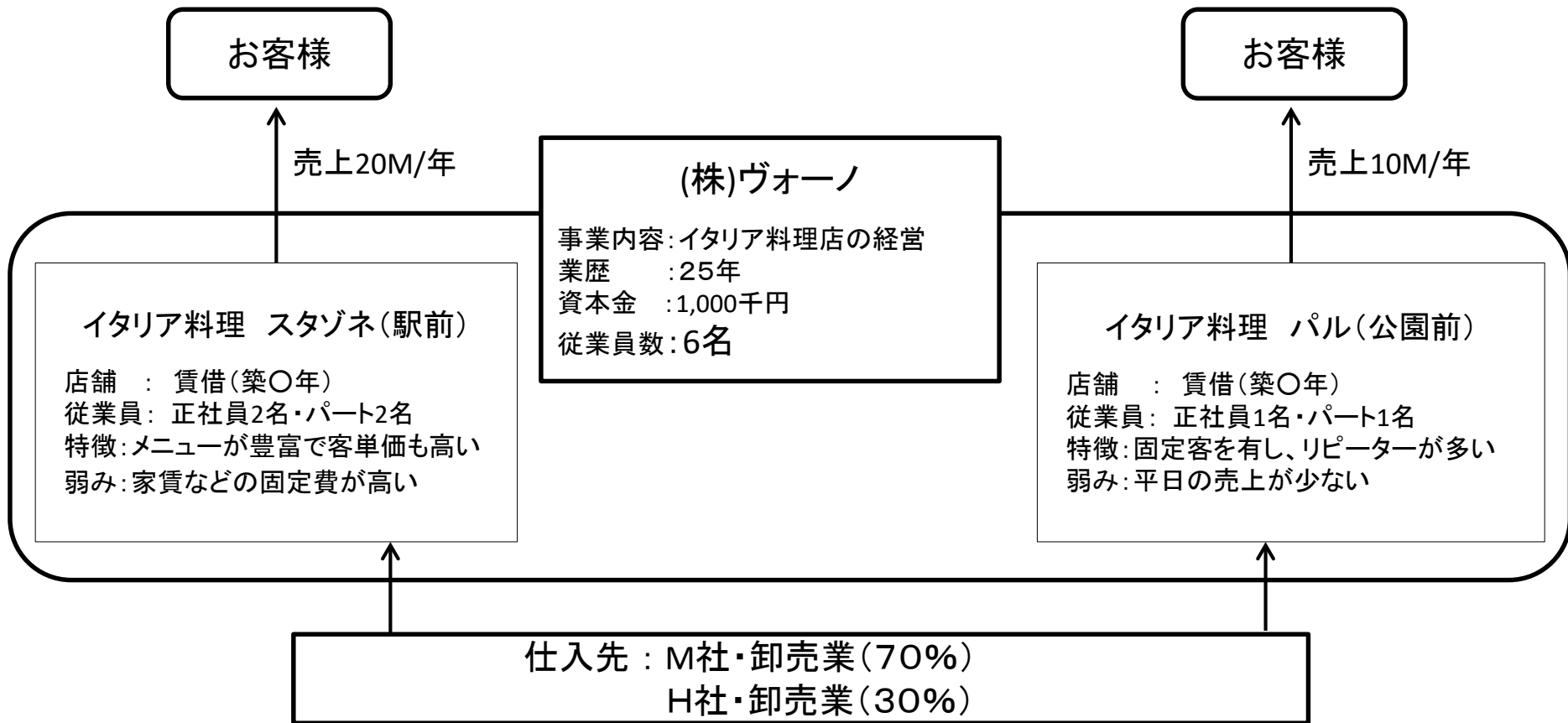
# 事業計画書

株式会社 ヴォーノ  
代表取締役 計画太郎

令和元年●月●日

**SAMPLE**

《ビジネスモデル俯瞰図》



# SAMPLE

## 《資金実績・計画表》

(単位:千円)

平成29年 12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
売上高	-	2,400	2,300	3,800	2,800	2,200	2,800	2,800	3,100	2,200	2,100	2,200	2,300	31,000
借入	-	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000
返済	-	280	280	280	280	280	280	280	350	350	350	350	350	3,710
借入金残高	21,560	21,280	24,000	23,720	23,440	23,160	22,880	22,600	22,250	21,900	21,550	21,200	20,850	-
現預金残高	500	600	2,800	1,200	1,200	1,100	1,100	1,200	900	800	800	400	400	-

平成30年 12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
売上高	-	2,300	2,100	3,700	2,900	2,200	2,200	3,100	3,200	1,900	2,000	2,100	2,300	30,000
借入	-	0	3,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,500
返済	-	350	350	350	350	350	350	350	380	380	380	380	380	4,350
借入金残高	20,850	20,500	23,650	23,300	22,950	22,600	22,250	21,900	21,520	21,140	20,760	20,380	20,000	-
現預金残高	400	400	2,500	1,200	1,000	1,100	1,100	900	800	900	800	900	900	-

令和1年 12月期	前年 繰越	1月	2月	3月	4月 (見通)	5月 (見通)	6月 (見通)	7月 (見通)	8月 (見通)	9月 (見通)	10月	11月	12月	計
売上高	-	2,200	2,300	3,500	2,400	2,300	2,500	3,000	3,000	2,000				23,200
借入	-	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0				3,000
返済	-	380	330	330	330	330	330	330	330	330				3,020
借入金残高	20,000	19,620	22,290	21,960	21,630	21,300	20,970	20,640	20,310	19,980				-
現預金残高	900	700	2,800	1,500	1,400	1,100	1,200	1,000	900	800				-

※今後の見通しについて6ヶ月程度記載すること  
※記載欄が不足するときは適宜追加すること

# SAMPLE

## 《損益計画》

(単位:千円)

	直近期	計画0年目	計画1年目	計画2年目	コメント
	平成30年12期	令和元年12期	2年12期	3年12期	
売上高	30,000	30,000	30,300	30,300	アクションプラン①より
売上原価	12,000	12,000	11,666	11,666	
(原価率)	40%	40%	38.50%	38.50%	アクションプラン②より
売上総利益	18,000	18,000	18,635	18,635	
(粗利率)	60%	60%	61.50%	61.50%	
販売費・一般管理費	18,500	18,000	17,400	17,200	
(人件費)	12,000	12,000	12,000	12,000	
(減価償却費)	2,000	1,500	1,400	1,200	
(その他経費)	4,500	4,500	4,000	4,000	アクションプラン③より
営業利益	-500	0	1,235	1,435	
営業外収益	-	-	-	-	
営業外費用	800	800	760	720	
(支払利息)	800	800	760	720	
(その他)	-	-	-	-	
経常利益	-1,300	-800	475	715	
特別利益	-	-	-	-	
特別損失	-	-	-	-	
税引前利益	-1,300	-800	475	715	
法人税等	70	70	70	70	
当期利益	-1,370	-870	405	645	
借入金残高	20,000	20,000	19,000	18,000	
簡易CF (当期利益+減価償却費)	630	630	1,605	1,645	

# SAMPLE

## 《アクションプラン》

	主な経営課題(計数面)
1	店舗毎の客層を把握しておらず、幅広い顧客に対応するための材料を多く仕入れているが廃棄食材も多い
2	料理毎の原価を把握しておらず、利益率などを意識した経営が出来ていない
3	資金不足になると安易に運転資金を調達し、販管費などの見直しが出来ていない

主要課題に対する アクションプランの具体的な内容		実施時期	主担当	計画0期目	計画1期目以降
①	●両店でどのようなお客様が来店しているかを調べて実態を把握する。 ●把握した客層を踏まえたメニューを設定して売り上げ増加につなげる。	今期中	店長 認定支援機関	±0	売上+1%
②	●料理ごとに原価を把握する。 ●利益率を勘案して「今日のおすすめ料理」を設定する。	①の結果を踏まえ速やかに着手	料理長 認定支援機関	±0	原価率▲1%
③	●共通費なども考慮した店舗別の損益を把握する。 ●両店を比較し、販管費の削減につなげる。	・当期中に着手 ・来期中に目処	社長 店長 認定支援機関	±0	販管費▲0.5M

# SAMPLE

## 《アクションプラン(経営者保証ガイドライン要件部分)》

	主な経営課題(非計数面)
1	「法人と経営者との関係の明確な区分・分離」に向けた取組み
2	「財務基盤の強化」に向けた取組み
3	「経営の透明性確保」に向けた取組み

	主要課題に対する アクションプランの具体的な内容	実施時期	主担当
①	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社長及び親族と会社との貸借関係を清算する。</li><li>● 社長所有の事業用不動産の買取りに向けた検討を開始する。</li></ul>	今期中	社長 認定支援機関
②	<ul style="list-style-type: none"><li>● 計画的に事業利益を社内留保し、財務基盤の強化を図る。</li></ul> <u>※アクションプラン(係数面)の取組みと連動</u>	今期末より	社長
③	<ul style="list-style-type: none"><li>● 顧問税理士と経理担当者が協力し、月次試算表の作成に着手する。</li><li>● 取引金融機関と協議し、必要な財務諸表の定期的な提出を開始する。</li></ul>	今期中	社長 経理担当者 認定支援機関

### 計画策定時のご注意

経営改善取組み後の、最終的な経営者保証解除の可否は金融機関の判断によりますので、どのような取組を行うべきか等、事前相談時に金融機関とご相談の上計画を策定してください。